

広島県西部地域女性農業者勉強会を開催

【平成31年2月22日掲載】

中国四国農政局広島県拠点（広島市中区上八丁堀）と当所は2月19日、広島市中区の広島合同庁舎で「広島県西部地域女性農業者勉強会」を開催しました。この会は、当所管内の女性農業者を対象に、農政に関する情報の提供や農業者の交流を深めることを目的として初めての開催となります。

勉強会には15人の農業者が参加し、県農業技術課から農作業の安全面から見たGAPの説明、農政局広島拠点から収入保険制度や6次産業化、農業女子プロジェクトなどの情報を提供しました。

続いて、先輩農業者である北広島町の（有）モリタ農園の森田いさ子さんと廿日市市の國宗政子さんが事例紹介しました。森田さんは「14日間の女性アメリカ研修に参加して、農業経営に積極的に関わるようになり転機になった」、國宗さんは「小面積で兼業農家であるが、消費地に近い立地を活かし、いちご販売をしている」など、参加者にエールが送られました。

フリーディスカッションでは、参加者は水稻や野菜、果樹、酪農、加工品など様々な品目を生産しており、農業経営での苦労や工夫していること、マルシェでの販売などについて、活発に意見を交換しました。「これからも女性が意見交換できる場があったらいいと思う」という感想がありました。

当所では、女性農業者の意見が経営に活かせるよう、今回のような勉強会を企画していきたいと考えています。



【事例紹介する森田さん】



【意見交換で農作業の工夫を紹介】

情報提供元

西部農業技術指導所